

TYPE OF INDUSTRY

情報通信研究機構

NICT 先端研究

(135)

インターネット上で動画画像を含むSNSや4K・8K動画配信を安定的に行うため、情報通信研究機構（NICT）では情報指向ネットワーク技術（ICTN）の研究を行っている

ICTN、通信改善・省エネ化

ICTNでは、ユーザ可能となり、ネットワークの省エネ化にも貢献する。この新しい通信技術、特にネットワーク内キャッシュ状況や通信経路を探索する手法、ネットワーク内データ符号化方式などを国際的に統一されている必要がある。NICTではIETFおよび延通信や通信量削減がIETFではIETFおよび国際的な技術仕様の策定に加え、それに従

た通信ソフトウェアが公開されることが技術の迅速な実用化には必要である。NICTではCefore（セフォール）と呼ばれるN通信の必須機能と複数の拡張機能に分かれてソフトウェアを開発している。

これは、誰でも利用して柔軟な組み合わせが可能である。そのため、計算能力が低いセンサノードから高性能ルーターやパソコンまで幅広く利用可能となっている。

ネットワークシステム研究所
ネットワーク基盤研究室 研究員 松園 和久

2013年慶応義塾大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。同年、フランス国立情報学自動制御研究所（INRIA）ポスドクフェローを経て、NICTに入所。以来、ネットワーク技術関連の研究に従事。博士（政策・メディア）。



社会へ展開するための研究活動

今後は、さらにICTNの有効性を示す具体的なアプリケーションの提示を行うとともに、アプリケーションに必要な機能もオープンソースで提供することで、新しい通信技術の実用化を推進し、ユーザの通信環境の改善およびネットワークの省エネ化に貢献していきたい。（火曜日に掲載）

科学技術・大学